



THE SERVICE CLUB OF THE Y.M.C.A.
THE Y'S MEN'S CLUB OF NANZAN



- 国際会長主題 「信念のあるミッション（使命・目標）」
- アジア会長主題 「愛を持って奉仕をしよう」
- 西日本区理事主題 「あなたならできる！きっとできる！」
- 中部部長主題 「踏み出そう 次の一步のための今の一步を」
- クラブ会長主題 「地に足をつけた活動を！」

2015年9月

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

会 長 都築 正和 副 会 長 杉山 弘時 書 記 荒川 文門
会 計 近藤 豊 直前会長 森本 征夫 連絡主事 東田 美保



今月の聖句

あなたに平和、あなたの家に平和、あなたのものすべてに平和がありますように。

サムエル記上 25 章 6 節

第一例会

9月例会案内

日 時：9月10日（木）19：00～21：00
場 所：南山YMCA
卓 話：アメリカYMCAの現状と日本YMCAの比較
（LA YMCAでの研修を終えて）
講 師：成瀬 祥子 氏

今月の講師は、この夏アメリカLAのYMCAで職員として研修してこられた南山YMCAスタッフの成瀬祥子さんです。最近の名古屋YMCAとしては、初めての試みであるスタッフの海外研修を終え、国際的なYMCAを目指す名古屋の先端に立たれている成瀬さんです。聞くところによれば、アメリカのYMCAは、現在奉仕団体としてよりも一企業として素晴らしい発展をしているそうです。そんな現状と日本YMCAとの比較、その中でのワイズメンズクラブのあり方などお話しして頂きます。

第二例会

日 時：9月17日（木）19：00～
場 所：南山YMCA
議 題：1. 9月第一例会案
2. 秋の特別プログラムについて

第19回中部部会

日 時：9月26日（土）12：00～
場 所：名古屋市公館

見えない恐怖「脱原発」

森本 征夫

その昔、私が子どもの頃のこと、映画「ゴジラ」が上映された。そのストーリーは確か当時、マーシャル群島のビキニ環礁で、アメリカの水爆実験が行われ、その実験の放射能を浴びた古代の生物が巨大化し、「ゴジラ」が誕生してやってくるという内容であった。又その頃、日本にとって3度目の被爆というべき日本のマグロ漁船、第5福竜丸が被爆した。事故後作られた映画「第5福竜丸」を観た記憶があります。それと同じ頃(?) 政治の世界で原子力の平和利用ということで、結果、原子力発電所が進められ、原発建設は破竹の勢いであったと思われます。原発が稼働して30年以上になり、日本の高度成長には大きく貢献したことは誰もが認めるところではあるが、使用済み核燃料を再処理する技術は非常に難しく、まともに動いたことがないという。福島県の事故後、住民の一部が退去し、今なお帰宅困難地域になっているなど「帰りたいけど、帰れない」地域になっています。私の女房の伯母さんも福島に住んでいて、このような不安、心配、危機感からいつ脱することができるのだろうか「見えない恐怖」に怯えています。今後は、太陽光や風力、火力地熱等の自然のエネルギーで十分に「原発」代替できるのでは？

(一部中日新聞より引用)

| 8月報告 | 在籍9名 | 第1例会出席 | 第2例会出席 | メイクアップ | 出席率 |
|------|------|--------|--------|--------|------|
| | | 8名 | 7名 | 1名 | 100% |

8月第一例会報告

日 時：8月11日（木）

場 所：南山YMCA

出 席：浅井、荒川、小林、近藤、杉山、都築

深尾、森本

グランパス 10名、名古屋 4名、東海 4名

ゲスト7名

8月は、荒川中部部長を迎え、グランパスクラブとの合同例会でロシアからのSTEP留学生を迎えてのロシアにおけるワイズメンズクラブの活動等をお聞きする会でした。STEP（短期留学生受け入れプログラム）でグランパスクラブ松原ワイズ宅にホームステイしているロシアエカテンリング出身の Matvei Denisov 君（15歳）の話を聞きました。ロシアは、中々縁遠い国で実際に観光に訪れる人はまだ少なく、行ったとしてもモスクワ、ペテルスブルグなど著名なところに限られています。エカテンリングがロシアのどの地域かも知らない参加者が殆どでした。学校生活、ワイズライブ等色々話をお聞きしましたが、クラブは未だ4つだけで、地域はヨーロッパですので地域大会では他のヨーロッパの都市を訪れることが多いようです。STEPの留学生の話と有って、グランパス、南山の合同例会でしたが他クラブからのビジターも多く、多方面にわたるゲストの参加も含め30余名になり大盛会でした。また、グランパスの青木 哲史君の入会式も有り小林中部EMC主査が立ち合わせられました。



8月第二例会報告

日 時：8月20日（木）19:00～

場 所：コメダ

出 席：荒川、小林、近藤、杉山、都築、深尾

森本

南山YMCAが夏休み中ということで場所をコメダに変更して開催しました。

1. 9月第一例会詳細案作成
2. 日和田キャンプ場訪問について
3. 秋の農場プログラムの確認
4. その他

アジア地域大会報告

荒川 文門

7月31日より8月2日まで京都ウエスティン都ホテルでアジア大会が開催されました。アジア地域、そして国際からの参加者等で1,000名弱の大きな大会になりました。この大会のテーマは「未来を始めよう、今すぐに」でした。

一日目は、受付場所辺りに早くも祇園祭のお囃子の生演奏で京都らしさを作り、開会式は、岡野泰和アジア会長の高らかな開会宣言で始まりました。続いて就任式では新国際会長ウィッチャン氏の主題“Mission with Faith”が発表されました。基調講演は「宇宙からの贈り物」と題して宇宙飛行士の毛利衛氏より大変興味のある講演をうかがいました。特に宇宙から見ればどこにも国境など引いてない、との言葉には感銘を受けました。また、他のメディアでの話には無い排泄物処理の話とか、日本の先端技術の利用とか興味深い話で一杯でした。



晩餐会では京都の舞妓さんが5花街より全て揃って出演され、祇園小唄など伝統的な舞を披露して頂きました。そのあと各テーブルで舞妓さんを囲み、記念写真や乾杯等楽しい会が続きました。

台北中正クラブからは、5名の参加で、晩餐会席上で大いに旧交を温めました。来年は、台北で世界大会、さらに黄さんが台湾区初の女性区理事に就任されるとのこと、喜ばしい限りです。台湾全体では、600名位のメンバーだそうですがこのアジア大会に150名近く参加され、全て同じ色のベスト



顔写真付きの名刺など、圧倒されそうでした。台北ベータの皆さんに紹介され、貰った名刺は30枚以上、お渡しした名刺は一晩でほぼ無くなってしまいました。今まで色々な大会に参加しましたが、こんな経験は初めてでした。

明けて2日目、午前中は、早朝礼拝の後分団協議、幾つか用意されていましたが、私は「YMCAとの協調」という会に参加しました。特に新しい国々でのレポートがあり、興味深いものでした。モンゴルのYMCAの報告等これから考えて行くべき問題と痛感しました。カナダの地域会長からはYMCAがボランティア中心の体制からビジネス中心に変わりつつあり、ワイズメンズ運動も曲がりにあるとの話を伺い、日本も早晩そうなるのか、あるいはもっとボランティア精神を唱っていくのか、どちらであろうかと自問してしまいました。

午後はツアーで嵐山トロッコ列車に出かけました。この日は、京都も最高に暑く、38℃の中嵐山を歩くのは大変でした。ホテルで京の夏祭りにでも参加していた方が良かった、と後悔する位でした。担当の京都のワイズの計らいで、少し早目にホテルに戻り、伏見酒ツアーに行っていた台湾の人達とホテルで午後ティーこれが一番のプログラムでした。

夜のIPナイト晩餐会では、各種表彰の発表、ユースのダンス発表と報告、各区、地域の出し物発表、西日本区は、震災復興テーマソングの「はな」を歌いました。ここでも台湾の人達との交流、次々と紹介され名刺も尽きてしまい、一体誰にお会いしてどんな話をしたのかも覚えられない位でした。台湾の人達は、ちょっと前と違いかなり多くの人達が流暢な英語を話し、コミュニケーションを取るのに苦労しなくて済むようになり楽しいひと時でした。

三日目は、早朝浅井君が台北の人達が宿泊しているホテルまで来てくれ、朝食懇話会を持ちました。

その席で、例によって台北の人達は、我々メンバー一人一人にお土産を用意していて、何も用意していない事を少々後悔しました。お土産なし、が大原則とは言いながら何時も大量のお土産を用意してくれる台北メンバーには今度は用意せねばならない

いな、と思いました。朝食後台北のメンバーのバスに便乗し、閉会式に出席しました。閉会式では、台湾のメンバーから来年世界大会への大アピールがあり、台湾区理事、ホスト役員など多くの役目を担っているベータの人達の手前、なるべく多くのメンバーが参加しなければ、と思った次第です。

大会が近くなって、ホテル探しをしかけたのですが、何時もすぐどうにかになるので、甘く見ていましたが今年は海外からの観光ブームでちょっとしたビジネスホテルも予約できず大変でした。特に、金、土の連泊は至難で、どこを探しても予約できず、ウエスティンなどは土曜日の宿泊費が倍になっている愛様でした。結局、二条城近くの外人用長期宿泊施設が何とか見つかりましたが、食堂、ティールームなし、歯ブラシ、シェバーなし、タオルも一枚だけ、冷蔵庫共有というホテルで9,000円も取られました。キッチン付きの部屋はかなり安いようでしたが、もっと早くから三条辺りのビジネスホテルを押さえておくべきでした。

とにかく暑い大会でした。ホテルから一歩外へ出ると汗がどっと噴き出し、京都観光等とてもする気になれない大会でしたが楽しい会でした。あの暑さの中、走り廻ってお世話下さった京都のワイズメンには感謝の言葉も有りません。

日和田CAMP場訪問報告

8月21、22日の2日間、都築会長以下、小林、杉山の3名で「日韓ユースセミナー」のメンバーが滞在中の日和田へ差し入れのスナック菓子をぶら下げて出かけました。現地では2日共雨に降られましたが、この夏2回目の訪問という金沢クラブ清水会長と共に、藤谷さんの指導の下、初日はテントエリヤ周辺の枝打ち、マキ作り、焼却灰の中の釘拾い、2日目は台風対策としてメインロジ前のテントの撤収等の簡単なワークを行いました。

夕食は韓国のスタッフも交え、宴会モードで盛り上がりました。清水会長によれば金沢からは高山経由で2時間半の距離とか。来年の夏には事前に打ち合わせて合同例会でもできればと思います。



農場報告

暑さと雨不足で、サツマイモの葉が茶色くなり、毎日のように水やりをしましたが、焼け石に水とはこのことのようなものでした。7月下旬から8月中旬までに15リッターのガソリンを使いましたが、その後の雨で何とか持ち直し今は青々とした葉が生い茂っています。8月中旬頃にはトマト、きゅうり、茄子などの夏野菜はそろそろ枯れ始めました。近藤さんが生育中のゴマは背丈が1m近くまで伸び秋には順調に収穫できそうです。

8月18日(火) 暑い最中、ビストロラパン(瑞穂区役所裏のレストラン)のシェフ一行が薪炊きの石窯で、イタリア料理を作って研究したいということで来て頂きました。暑い中でしたが、さすがプロの用意したピザ、グラタンは絶品でした。シェフも感心していましたが店の窯は、熱源がガスなのでせいぜい内部温度が220℃位、一方薪だと350℃位まで上がり、焼きあがりの早さが違い味もかなり良くなる、との事でした。



これから、秋のプログラムに向け色々な準備が始まります。20日からの連休中にピザ窯のとなりにBBQ用の窯を作り、併せて窯上部に懸案の屋根を設置する予定です。又、今年は、タマネギも苗作りから始めようと思います。色々ご意見をお出しください。南山クラブの活動にとっても「実りの秋」そして「収穫の秋」です。精一杯楽しみましょう。

幼稚園だより

東田 美保

夏のプログラムが終了し、施設改修もいよいよ大詰めの時期を迎えています。80年代に建てられた新館もすっかり老朽化して、幼稚園の80周年を機に、南山は、地域の子育ての拠点となるべく生まれ変わろうとしています。改修となると今までなんとなく使っていた、通っていた場所を改めて見る、考える機会が与えられたように思います。子どもたちが過ごした保育室、ホール、園庭はもちろん、ゴムチップの通路、スタンドグラス、子どもたちが大好きだったかたつむり遊具、シンボルツリー、ひとつひとつが幼稚園、YMCAの歴史であり、そこで3000名を超える園児、そしてYMCAに通った、たくさん子どもたちが生まれ、そしてたくさんの方たちに支えられてきたことを改めて感じることができました。

今回子どもたち、地域の方たちの居場所となる幼稚園、YMCAがどういう姿になるべきなのか、色々と考えました。9月にはハードである建物が出来上がりますが、これからは中味であるソフト、プログラムを充実させ、これまでも継続して行ってきた人を育てることを大切にしていきたいと思えます。

南山ワイズから寄贈いただいたゴムチップは今もしっかり土台となっています。いつもお支えありがとうございます。

例会出席表

| | | アジア大会 | I B C 交流会 | 8 / 11 第一例会 | 8 / 20 第二例会 | 8 / 21 和田訪問 |
|---|-------|-------|-----------|-------------|-------------|-------------|
| 1 | 浅井 昭和 | | ○ | ○ | | |
| 2 | 荒川 文門 | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 3 | 小林 滋記 | | | ○ | ○ | ○ |
| 4 | 近藤 豊 | | | ○ | ○ | |
| 5 | 杉山 弘時 | | | ○ | ○ | ○ |
| 6 | 都築 正和 | | | ○ | ○ | ○ |
| 7 | 東田 美保 | | | | | |
| 8 | 深尾 俊雄 | | | ○ | ○ | |
| 9 | 森本 征夫 | | | ○ | ○ | |